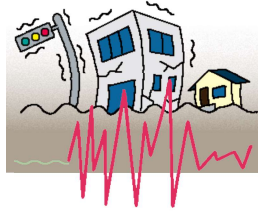
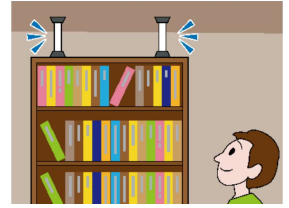


2 地震

地震が来る前



- 部屋にある棚やたんすが倒れないようにして、部屋の中を安全にします。



地震が起こったとき

▼ 家や建物の中にいるとき

- テーブルの下に入ります。上から物が落ちてきたり、棚が倒れたりして危ないです。



- 揺れが止まったら、ガスやストーブの火を消します。

- 地震でストーブが倒れて部屋の中で火事になったとき、もし自分で火を消すことができれば、消します。



- 外に逃げる前に、ブレーカーのスイッチを『切 (OFF)』にして電気を切ります。地震で電気が止まって、また電気が流れたときに、ストーブなどが自動でついて火事になることがあります。



▼ 外にいるとき

- かばんなどを頭の上に乗せて、物が落ちてきたときにけがをしないようにして、安全な場所に逃げます。ビルの近くは、割れたガラスや壁や看板が落ちてくるかもしれません。

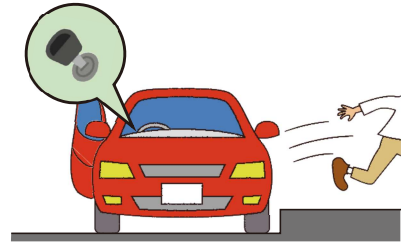
- 地震のとき、電車やバスが止まることがあります。急いで帰らないで、安全な場所でしばらく待ちます。

たくさんの方が同じ時間に帰るので、駅や道がこんで危ないです。



▼ 車を運転しているとき

- ゆっくり道の左側に車を止めて、エンジンを止めます。
- ドアにかぎをかけないで、車にかぎをつけたままにして、外に逃げます。



▼ 海や川の近くにいるとき

- 海で大きな地震があったら、津波が来るかもしれません。海や川から遠くに離れて、高い場所に行きます。
- テレビやインターネット、**Safety tips** ▶P.119 で、津波 ▶P.123 の情報を調べます。わからないときは、日本人に「津波は大丈夫ですか」と質問します。

▼ 逃げる時

- 安全な場所がわからないときは、日本人に「どこに逃げたらいいですか」と質問します。
- がけの近くに行きません。がけが崩れるかもしれません。
- 津波の危険があるときは、海や川から遠くに離れて高い場所に逃げます。



地震のあと

- 火はつけません。ガス管が壊れて、部屋の中にガスが漏れているかもしれません。
- 風呂などに水をたくさん入れてためます。水道管が壊れて、水が出なくなることがあります。